

DOKIGAWA

リバーキーパーズ

RiverKeepers



つうしん

Vol.107(平成25年11月)

落ち葉の降り積もるこの頃、リバーキーパーズの皆様方におきましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。毎日に寒気加わる時節ですので、風邪などには十分ご注意願います。

今回は、「第3回 大規模水害対策ワークショップ」開催報告についてお知らせします。

キーワード:「第3回 大規模水害対策ワークショップ」開催報告

○「大規模水害対策ワークショップ」実施方針

近年、地球温暖化などの気候変動により豪雨等の発生頻度が高くなっている傾向にあります。これにより、計画規模を上回る洪水(超過洪水)が発生する恐れが高まっています。本検討は、「香川地域継続検討協議会」と連携して、土器川で大規模河川氾濫が発生した際の被害想定や対策等及び「水災害に適応した強靱な社会」作りの方向性についてのとりまとめを目的とするとともに、香川県内における「水災害に適応した強靱な社会」作りの方向性のとりまとめに資するものであります。

そのため、土器川氾濫地域の関係機関がメンバーとなり、「大規模水災害に適応した対策検討会」を設置するとともに、意見集約の場として土器川氾濫地域の住民が集まり、意見交換する「大規模水害対策ワークショップ」を開催するものであります。

○「第3回 大規模水害対策ワークショップ」開催

10月6日(日)14:00~16:30に、丸亀市民会館において「第3回 大規模水害対策ワークショップ」を開催しました。

ワークショップでは、丸亀市やまんのう町等約70人の地域住民、約60人の香川県防災士会や土器川氾濫地域市町の防災担当者が参加し、香川大学 危機管理研究センター長である白木会長の挨拶の後、「水害に強いまちづくり」、「地域の生き残り」のために「いつ、だれが、なにをするか」について、私たちの考える大規模水害対策のアイデアを抽出しました。



会場の様子



”特に困ることの(施設)”の旗立て



テーブル発表の様子

住民からは、住民目線でのご意見が数多く出されました。以下にその一部を紹介します。

- 「堤防決壊のリスクを下げるためにも河道内の堆積した土砂の掘削をお願いしたい」
- 「国管理区間上流の河川氾濫を含めると、もっと大きな被害が予想される」
- 「下流では浸水が長時間続いたため、事後の行動が取りにくい」





透明シート旗立てで実施状況



透明シート旗立て



意見カードでの検討

○「大規模水害対策ワークショップ」感想アンケート

ワークショップ参加者に、これまでの3回のワークショップに参加した感想について、以下の3つの問いのアンケートを実施し、参加者に感想を伺いました。

問1:大規模水害の情報は役に立ちましたか？

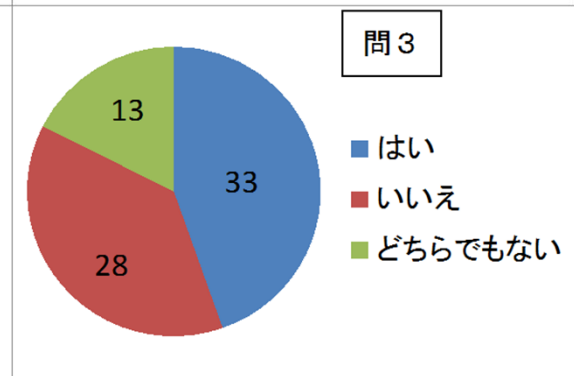
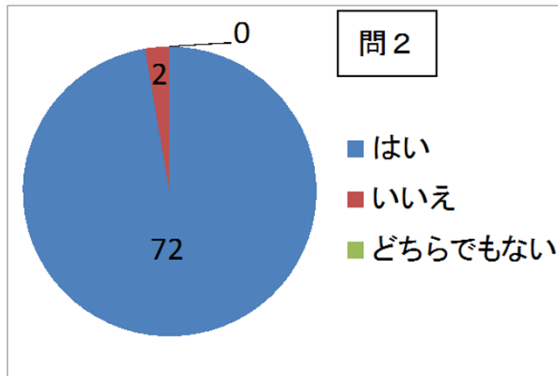
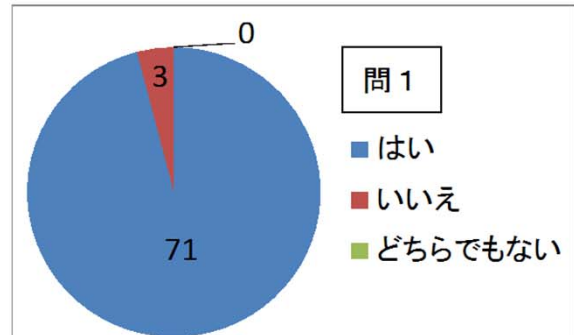
問2:ワークショップに参加して良かったですか？

問3:「水害に強いまちづくり」が議論できた(“水害に強いまち”に成り得る)と思いますか？

参加者の皆様の貴重なご意見本当にありがとうございました！



単位：人



「問3」で「はい」以外を選ばれた方々より、今後の行政の取り組みに期待するとの声が上がられています。

ワークショップは終了しましたが、今後はこの意見集約結果を基に、香川大学危機管理研究センターや行政機関で構成される「大規模水災害に適応した対策検討会」を開催し、「水災害に適応した強靱な社会作り」を検討していきます。

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしとご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL:087-821-1623(計画課直通) FAX:087-821-1713

